

184名の1年生を新たに迎え、令和8年度が多津美中学校が550名でスタートしました。

学校教育目標は『一人一人が主体的に、正しく判断し行動できる生徒』です。

多津美中学校では、グッドビヘイビアカードに代表されるような、ポジティブな行動支援の取り組みや、生徒を「ほめて、認めて、励ます」取り組みを積極的に行っています。それらを通して、自分の良さを自認できること、またそれを軸足にして今度は生徒どうしが互いの良さを認め合えること、さらには互いを高め合えることを目指しています。そして予測困難で不確実な時代にあっても、自らがしっかりと考え、他と協力し、自分なりの答えを粘り強く探していける大人になってほしいと願っています。



教職員へは、「種蒔きの時期がくる前に、土を耕そう。」をスローガンに、生徒との日ごろからの関わりを大切にしましょうとお話させていただいています。『自分を大切にし、互いの良さを認め合い、高め合う生徒』、『主体的に学び、自らの能力を高める生徒』を育成すべく、失敗を恐れることなく行動し、失敗から学び、次なる挑戦へ生かしていくことのできる、粘り強い意志のある生徒を育てるための活動を積極的に行っていきます。きっと様々な場面で、生徒の自信となるような「しかけ」をつくって活動して下さることと思います。

また、多津美中学校は校区の幼稚園、小学校とも連携し、切れ目なく、子どもたちの育ちを応援していきます。歴代の中学校区の幼小中の校園長が、それぞれの地域の強みを持ち寄って、地域の子どもたちを地域の方々とともに育てていきたいかを考えます。令和8年度の校区の教育目標は「よりよく生きる」子どもの育成です。

我々、教職員は、保護者の皆様方(多津美中学校 PTA)をはじめ、学校運営協議会や学校支援地域本部実行委員会、青少年を育てる会の皆様など、地域の多くの方々に支えられながら、生徒に寄り添って活動しています。共に協力し、一緒になって生徒のよりよい成長を支援していただきますと、大変ありがたく思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 菊池 勲